

こみゅにTe@たいむ

各種助成を活用ください

市は市民協働のまちづくりを進めており、地域の自主的な取り組みを支援しています。活動を支援するため、さまざまな助成メニューを用意しています。

【助成メニューの例】

○町内会等活動支援交付金

・草刈り、除雪、コミュニティ活動などに対する補助。(最高 35,000 円)

○まちづくり事業補助金

・地域づくり計画に基づく、地域の課題解決などに向けた事業に対する補助。(補助率 4 分の 3 以内、最高 30 万円)

○地域コミュニティセンター整備事業費補助金

・地域公民館などの新築、改築、修繕などに対する補助。(補助率 3 分の 1 以内、最高 300 万円)

○宝くじ助成

☆一般コミュニティ助成

・コミュニティ活動に関する備品整備に対する助成。(定額 100 万円～ 250 万円)

☆コミュニティセンター助成

・集会施設の建設または大規模修繕などにかかる助成。(助成率 3 分の 1 以内、最高 1,500 万円) ※地域コミュニティセンター整備事業費補助金と併用できます。

それぞれ申請時期があり、このほかにも国、県などのさまざまな助成事業があります。「こんなことをしたい」や「興味があり、話を聞いてみたい」という希望がありましたら、お気軽に問い合わせください。

また、直接地域に出向き、事業の説明もいたしますので、総会前のこの時期、ぜひご検討ください。

問い合わせ先 地域振興課 (内線 352)



手刈りで蕎麦しまを作りしました。食べるのが楽しみです



今月は永井尚子隊員がお届けします

—地域おこし協力隊通信—

九かき目「食べて作って」

「一戸の郷土食って本当に美味しいですね! つるつもちつアツアツをフウフウ言いながら食べた」「ひつつみ」。日がたつほどに美味しくなる「けんちん汁」。フワフワとした食感と繊細な香りの「へちちよこ団子」。全部好きですが、中でも蕎麦が大好きです。

二戸に来て最初に口にした蕎麦の美味しさに感動して以来、「ここに来てから一番食べたのは蕎麦だ!」と言い切れるほど、蕎麦を食べまくった一年でした。

二戸の蕎麦文化は奥深いですね。集落に必ず一人は蕎麦打ち名人がいたり、宴の終盤に必ず蕎麦が振る舞われ、それが「そろそろお開きですよ」の合図だったり!

蕎麦を使った料理もさまざま。私が今まで普通に蕎麦と呼んでいたものは「蕎麦はつと」。柳の葉の形がかわいい「柳ばつと」。ニンニク味噌でいただくワンタンのような「かつけ」にビックリ! そばがきを丸めて揚げたものも。

シンプルなお食事に手を掛け、ラエティー豊かに楽しんできた二戸の食文化を知るにつけ、この地に暮らしてきた人々の創造力と心の豊かさを感じます。

すっかり蕎麦の魅力にはまっていた私。今年は蕎麦栽培に初挑戦しました。私が尊敬する雑穀づくりの匠に、一からご教授いただける幸運に恵まれました。思い返せば、蕎麦栽培はお天気が勝負でした。

7月後半は雨続きで種まきのタイミングがつかめずハラハラ。花時も蝶や蜂の数は天気次第でドキドキ。そして9月から台風ラッシュに刈り取り時期の雨がちな天気。

未だかつてこんなに天気を気にして日々を過ごした事はありませんでした。

五感と脳みそをフル稼働し、二戸の自然と向き合ったハラハラドキドキの蕎麦栽培でしたが、先日無事に収穫しました。皆様に使っていただいた刈り取り(手刈り)と脱穀。唐箕(選別)をかけて残った茶色い粒は、頬ずりしたくなる愛おしさ。

先ほど「五感と使った」と言いましたが、実は今はまだ使っていない感覚が一つだけあります。そう! 「味覚」がこれからです。二戸の土とお日様と、私の夏の思い出がギュッと詰まった味がするでしょうか!

末筆ですが、お世話になった皆様にお礼申し上げます。本当にありがとうございました!

(地域おこし協力隊 永井尚子)

起、多塩で、今年品かにつが不ニみ、家ら、こと